

染色加工（実用）

テキスタイルカレッジ「染色加工」では、染色の基本的な考え方から天然繊維と合成繊維での染色加工技術に関する基本技術について「やさしく、わかりやすく」解説いたしました。

「染色加工（実用）」では、繊維業界に長年携わってこられた方々に基礎講座を踏まえ繊維別に染色加工の応用技術に関して詳細に解説していただくだけでなく、高機能素材などの要素技術さらにはエコ対応・環境関連技術や安全性と法規制など現在の繊維業界が抱えている課題を「よりわかりやすく」解説していただきます。

講義内容には、最近の技術の進歩や新たな染色加工技術へと展開についても触れていただいています。染色加工に携わっておられる方々のみならず、アパレル製品関連分野をはじめ環境関連技術分野をも含めた幅広い分野の方々を対象としていますので、多数の方々のご参加をお待ちしております。

1日目【11月9日（木）】

（1）染色助剤および機能加工剤（10:00～12:00）

元日華化学、金崎技術士事務所 金崎 英夫

最近では健康志向を中心とした機能性加工が多く開発されているが、安全性、環境対策を重視する動きが急速に高まっている。そこで話題の機能性加工剤（非PFOA型撥水加工剤、抗ウイルス加工剤、防蚊加工剤、その他）の開発動向と安全性、業界動向について紹介します。

（2）セルロース系繊維の染色加工（13:00～15:00）

（株）東洋紡カンキョーテクノ 代表取締役社長 橋本 嘉顯

基礎講座を受け、それぞれの工程を深掘しつつ、「生産現場を意識した、留意点や問題解決の方向性を」及び「繊維製品の調達を意識した、各工程の意義や品質問題を実現現場のサンプルを通して」解説します。

（3）タンパク質系繊維の染色加工（15:15～17:15）

元日本毛織、元日本羊毛産業協会 長澤 則夫

ウールに代表されるタンパク質系繊維の繊維構造は非常に複雑で、元々多くの機能を併せ持っています。それだけに、このタンパク質系繊維の繊維構造を知ったうえで、染色を始めとする付加価値加工を行う必要があります。またタンパク質系繊維は物理的にも化学的にもデリケートな繊維なので、加工条件の設定には特に配慮することが求められます。このようなタンパク質系繊維の染色・仕上加工の実際の注意点を重点として解説します。

2日目【11月10日（金）】

（４）合成繊維の染色加工（10.00～12.00）

元帝人、京都工芸繊維大学非常勤講師 嶋田幸二郎
合繊及びその複合織編物の機能性付与加工は、日本のテキスタイル加工の重要な要素技術で進化している。繊維メーカーにて技術開発してきた経験をもとに、最近発表されている多くの機能性付与技術について、染色および仕上加工の応用を重点にしてサンプルや動画などを利用してわかりやすく解説します。

（５）捺染加工及び環境技術（CO₂削減を主に）（13.00～15.00）

元日本染色協会、森本技術士事務所 代表 森本 國宏

- 1) 個人的な嗜好や歴史的な伝統文化の表現の一つに、着衣に花鳥や抽象的なデザインを施す技法に捺染（テキスタイルプリント）がある。繊維製品への捺染技術は数百年の歴史を持つ従来法と、十数年前から実用化され始めたインクジェット方式について、その技法と装置について解説する。
- 2) 染色加工産業は、繊維産業の中で突出した資源（エネルギー、化学薬品、水等）の大量消費産業である。
一般には、企業形態は中小企業が多いために、その消費量については個々には余り注目を浴びていないが、全国的な規模、世界規模で俯瞰するとその消費量は膨大な物である。特に地球温暖化の原因とされている二酸化炭素排出量の削減は最重要課題である。品質や生産性を落とさずに化石燃料、電力消費量を減じる技術を中心に、今後予想される問題点についてもその解決策について共に議論する場としたい。

（６）繊維製品の性能評価（15.15～17.15）

（一社）繊維評価技術協議会、日本繊維機械学会フェロー 越智 清一

我が国が得意とする各種機能性繊維の分類例、機能性試験方法のJIS、ISO標準化提案状況を紹介したあと「清潔」「安全・安心」「快適性」及び「イージーケア性」カテゴリー別の代表的な機能性について、その付与メカニズムと評価方法について解説します。

日時：平成29年11月 9日（木）10:00～17:15
平成29年11月10日（金）10:00～17:15

会場：大阪科学技術センタービル
大阪市西区靱本町1-8-4
<http://www.ostec.or.jp/>

アクセス：地下鉄四つ橋線「本町駅」下車
28号出口北へ徒歩5分

定員：30名
定員になり次第締め切らせて頂きます。

参加費：（税別）
会 員：25,000円 協賛学協会員：25,000円
非会員：33,000円
学生会員：5,000円 学生非会員：7,000円

協賛：大阪染色協会

申込方法：
学会ウェブページよりお申し込み下さい <http://tmsj.or.jp/>

お問合せ：日本繊維機械学会
Tel：06-6443-4691 / Fax：06-6443-4694
E-mail：info@tmsj.or.jp

Textile College